

平成 29 年 6 月 27 日
一般財団法人東京マラソン財団



東京マラソン財団／お知らせ

本日（6月27日）、一般財団法人東京マラソン財団の臨時理事会にて、東京マラソン 2018 の大会要項が決定いたしましたので、お知らせいたします。併せて東京マラソン 2018 関連について下記のとおり、お知らせいたします。

記

- 東京マラソン 2018 大会要項 (資料 1)

- 東京マラソン 2018 メインビジュアルについて (資料 2)

- 東京マラソン 2018 チャリティ
寄付金及びチャリティランナー募集について (資料 3)

- 東京マラソン 2018 オフィシャルパートナーについて (資料 4)

- 東京マラソン EXPO 2018 について (資料 5)

以上

東京マラソン 2018 大会要項

大会名称	東京マラソン 2018 (英文名:Tokyo Marathon 2018) 兼ジャカルタ 2018 アジア競技大会日本代表選手選考競技会 兼マラソングランドチャンピオンシリーズ 2017-2018 ～東京 2020 オリンピック日本代表選手選考競技会～ 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXI
主 催	一般財団法人東京マラソン財団
共 催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞
後 援 (予定)	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ
主 管	公益財団法人東京陸上競技協会
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
特別協賛	東京メトロ
協 賛	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、株式会社バンダイナムコエンターテインメント、日本光電、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG 株式会社
種 目	マラソン (男子・女子、車いす男子・女子) 10 km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)

開催日時	2018年（平成30年）2月25日（日） 9時05分 車いすマラソン・10kmスタート 9時10分 マラソン・10kmスタート 10時50分 10km競技終了 16時10分 マラソン競技終了
テレビ放映	フジテレビ系全国ネット
コース	マラソン：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪 ～日比谷～東京駅前・行幸通り（日本陸上競技連盟・IAAF/AIMS公認コース） 10km：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋（記録は公認されない・順位はネットタイムによる）
競技規則	国際陸上競技連盟（IAAF）並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations（IAAFロードレースラベリング規定）も適用される。 また、IAAFの規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、世界パラ陸上競技連盟（World Para Athletics）競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。
制限時間	マラソン：7時間 車いすマラソン：2時間10分 10km：1時間40分 車いす10km：35分 ※1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
定員	マラソン：35,500人 10km：500人
参加資格	以下の条件にあてはまる者で、主催者が出場を認めた者。 1) マラソン 大会当日満19歳以上 1-1) 一般 6時間40分以内に完走できる者 1-2) 準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」に定める推薦基準に達する者 1-3) エリート ・2017年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手（日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者） 1-4) 車いす一般 レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者 1-5) 車いすエリート ・2017年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ2018年IPC登録予定者で、大会当日にWorld Para Athletics国際クラス（T53・T54）を所持している者。なおかつWorld Para Athletics公認大会で、男子1時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者 ・招待選手（日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者）

2) 10km 大会当日満16歳以上

2-1) ジュニア&ユース

大会当日満16歳から満18歳までの1時間30分以内に完走できる者
(1999年2月26日以降、2002年2月25日までに生まれた者)

※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に
参加する者を含む

2-2) 視覚障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者

2-3) 知的障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者

2-4) 移植者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者

2-5) 車いす 大会当日満16歳以上 レース仕様車で35分以内に完走できる者

※車いすのレース仕様車とは大会当日に適用される最新のWorld Para Athletics競技
規則に定められた規格の車いすのことを指す。

賞 金 マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。

参加料 マラソン：国内 10,800円、海外 12,800円
10km：国内 5,600円、海外 6,700円 ※事務手数料・消費税込み

参加受付 1) 方法 公式ウェブサイト <http://www.marathon.tokyo/> から受付
2) 期間 2017年(平成29年)8月1日(火)から8月31日(木)まで
3) 参加者の決定 申込者多数の場合は抽選を行う。
4) 入金 当選者は指定期日までに入金手続きを完了のこと。
※ チャリティランナーの受付は7月1日(土)から7月31日(月)まで行う。
(アクティブチャリティの受付は8月31日(木)まで。)先着順4,000人。
※ 東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO プレミアムメンバーを対象とした先行受付を
7月3日(月)から7月31日(月)まで行う。定員3,000人。申込者多数の場合は抽選。
※ 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2018」の概要は公式ウェブサイトを参照のこと。
※ エリート・車いすマラソン(エリート)の参加受付は12月から行う。

ランナー受付 2018年(平成30年)2月22日(木)・23日(金)・24日(土)
東京マラソン EXPO 2018 会場(東京ビッグサイト)にて行う。
※ 大会当日には、受付を行わない。

その他 1) 主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。
2) 本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。



東京マラソン2018チャリティ (Run with Heart) ～7月1日(土)より寄付金及びチャリティランナーを募集開始～

一般財団法人東京マラソン財団は、「東京マラソン 2018 チャリティ」の寄付金及びチャリティランナー募集を7月1日(土)より、開始いたします。また、各寄付先事業のチャリティ・アンバサダー等によるクラウドファンディングを活用しながら、チャリティ文化の醸成を担っていきます。

つきましては、「東京マラソン 2018 チャリティ」の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティを実施しています。東京マラソンを走り・支え・応援してくださる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子供たちへのサポートといった社会貢献について考えるきっかけを提供し、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティ事業を運営しています。

記

■寄付金及びチャリティランナー募集要項

名 称：東京マラソン 2018 チャリティ

寄付先事業：寄付先事業一覧参照

●寄付のみ

募集期間：平成 29 年 7 月 1 日(土)10 時 00 分から平成 30 年 3 月 31 日(土)17 時 00 分まで

金 額：任意 ※事務手続きの関係上、1 万円単位での受付となります。

※クラウドファンディングは、1 千円単位での受付となります。

●チャリティランナー

募集期間：平成 29 年 7 月 1 日(土)10 時 00 分から 7 月 31 日(月)17 時 00 分まで

募集人数：先着順 4,000 人 (内 100 名は、アクティブチャリティにて募集)

資 格：10 万円以上の寄付をいただいた方で、希望される方

(東京マラソン 2018 の募集要項の資格を満たした方)

※「東京マラソン 2018」参加料 10,800 円は、別途ご負担いただきます。

※主催者の判断で募集を締め切る場合もあります。

詳しくは <http://www.marathon.tokyo/charity/> まで

■東京マラソン 2018 チャリティ寄付先事業 (団体名)

一般財団法人東京マラソン財団スポーツレガシー事業	公益財団法人東京防災救急協会
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン	認定特定非営利活動法人Teach For Japan
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	認定特定非営利活動法人カタリバ
特定非営利活動法人国連UNHCR協会	公益財団法人東京都農林水産振興財団
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	東日本大震災復興支援事業
認定特定非営利活動法人育て上げネット	

■各寄付先事業のチャリティ・アンバサダーからのメッセージ

寄付先：東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

大島 めぐみ（おおしま めぐみ）さん

（元女子マラソン日本代表）

多くの方の支えが大きな力になることを感じてきました。この活動を通じて、誰もが新たなチャレンジに踏み出すことのできる環境が実現することを願い、私も未来のアスリートたちを支えていく力になれるようチャレンジします！



寄付先：東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

M 高史（えむ たかし）さん

（もまねアスリート芸人）

東京マラソン 2017、レース終盤、苦しい時に粘れたのは、支えてくださった皆様、チャリティご協力いただいた皆様の応援のおかげでした！「走る」「支える」「応援する」1人1人の力を合わせてスポーツレガシーを築き上げていきたいですね！



寄付先：東京マラソン財団 スポーツレガシー事業

中村 優（なかむら ゆう）さん

（タレント・ランナー）

2017年、東京マラソンのボランティアに参加しました。「出場する人」、「応援する人」、「支える人」、関わる人すべてが笑顔だったのが印象的でした。スポーツを通じた社会貢献の方法も様々な形があります。広く伝えていけるように、笑顔で精一杯、頑張ります！



寄付先：公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

北澤 豪（きたざわ つよし）さん

（元サッカー日本代表）

「病気に立ち向かうことと、スポーツに立ち向かうことには共通点がある。だから一流のアスリートだけでなく、スポーツを楽しんでいるみなさんと共にドナルド・マクドナルド・ハウスをサポートすることに意味がある」と日々感じています。今大会も「共に支え合うチームの輪」を心に東京マラソンを走ります。



寄付先：公益財団法人東京都農林水産振興財団

松田 努（まつだ つとむ）さん

（元ラグビー日本代表）

ラグビーの現役選手だった頃「企業の森」に参加したことをきっかけに、10年近く「花粉の少ない森づくり」に参加してきました。私もそうですが、毎年多くの方が花粉症に苦しんでいます。今の子どもたちや次世代のためにも「花粉の少ない健全な森づくり」を応援します。みなさん、花粉の少ない森づくりのためにチャリティのご協力をよろしくお願ひします



寄付先：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

増田 明美（ますだ あけみ）さん

（スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授）

プラン・インターナショナルの活動地であるラオスやトーゴといった途上国で、子どもたちと一緒に走ることで、言葉や文化の壁を飛び越えて気持ちがつながるといふ素晴らしい体験をしました。私は、マラソンの力を信じています。走れる幸せが、9,342人のバングラデシュのスラムに生きる子どもたちとお母さんたちの幸せにつながることを願っています。



寄付先事業及び使途一覧

※【使途】は東京マラソン 2018 チャリティの寄付金の使途（予定）です。

※ アクティブチャリティ対象団体：団体が独自にプロモーションを行って、チャリティランナーを呼びかける「アクティブチャリティ」を実施する団体です。

○一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業 《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現

スポーツの夢（強化育成）・スポーツの礎（環境整備）・スポーツの広がり（普及啓発）・スポーツの力（社会貢献）を柱にスポーツの力を信じるすべての人とレガシー事業を作り上げて行きます。

○公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

【使途】病氣と闘う子どもとご家族の為に滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の建設と運営

『ドナルド・マクドナルド・ハウス』は、『我が家のようにくつろげる第2の家』という理念のもと、寄付金と地域ボランティアの支援によって病氣と闘う患者家族を支えています。看病に追われるご家族が、ご自宅と同じように過ごしていただけるよう、プライバシーが守られるベッドルームをはじめ、キッチン、リビング、ダイニング、ランドリー、プレイルームが備わった大きな家で、“精神的”にも“経済的”にもご家族のサポートさせていただいています。

○公益財団法人スペシャルオリンピックス日本《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】知的障害のある人々へのスポーツ活動の提供・普及

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。2018年9月に愛知県にて「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」を開催します。本大会は、2019年にアラブ首長国連邦のアブダビで開催されるスペシャルオリンピックス世界大会への日本選手団選考を兼ねて、全国より1,000名以上のアスリートが参加します。

○特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置

世界には、紛争や迫害などで故郷を追われ、避難生活を余儀なくされている難民や国内避難民が約5,000万人もいます。保護を求めて逃れてきた人々の命を守るために、素早くテントを設置し、避難生活を支えます。皆さまからのご寄付は、避難生活に不可欠な援助物資のひとつである家族用テントの購入に活用させていただきます。国連 UNHCR 協会は、UNHCR の日本における公式支援窓口として、広報・募金活動を担う認定 NPO 法人です。

○公益財団法人日本障がい者スポーツ協会《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】活力のある共生社会の創造 ～スポーツの普及拡大・競技力の向上～

我が国の障がい者スポーツの普及振興を図る統括組織として設立され、以来50年を迎えました。近年、障がい者スポーツをめぐる環境は大きく変化し、これまでの歴史や直面する課題等を踏まえ、障がい者スポーツの更なる発展を目指して、「日本の障がい者スポーツの将来像（ビジョン）」を公表し、アクションプランによりその推進を進めています。障がいのある人のスポーツ環境を整え、日本の障がい者スポーツの発展、ひいては活力ある共生社会の創造を実現していけるよう、新たな決意を持って取り組んでいます。

○公益財団法人そらぶちキッズキャンプ《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】難病とたたかう子どもと家族を、夢の医療ケア付キャンプ場に招待

日本では約20万人の子どもたちが小児がんなどの難病とたたかっています。辛く長い闘病生活の中で、「外で遊ぶ」という機会がほとんどありません。「外で遊びたい」それが夢だと言う子どもたちがいるのです。そらぶちキッズキャンプは、難病とたたかう子どもたちや家族を受入れることができる医療ケア付キャンプ場を寄付やボランティアの力で建設・運営しています。

○認定特定非営利活動法人ファミリーハウス《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】 重い病気の子どもが治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア

ファミリーハウスでは、病院と自宅をつなぐ中間施設の機能をもった、医療ケアの必要な子どもと家族にとっての「理想の家」の建設を目指しています。寄付金は長期治療中の子どもたちが医療機器をつけたままでも安心して病棟を離れ、家族と一緒に過ごせる「理想の家」建設基金とさせていただきます。

水道光熱費など施設維持運営のために必要な費用の一部にもあてさせていただきます。

○認定特定非営利活動法人育て上げネット《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】 貧困・いじめ・孤食・発達障害、生きづらい子供たちを守る

貧困・いじめ・孤食・発達障害など、生きづらさを抱えている子供たちが日本にはたくさんいます。皆様のご支援は、家庭環境が不安定な子供たちが学習習慣を身につける支援や環境づくりのほか、「お金と仕事・働き方」を学ぶプログラムの実施など、子供たちを「自立した将来」へとつなぐ活動に活用させていただきます。

○公益財団法人東京防災救急協会

【使途】 いざという時のための知識・技術の普及による安心して暮らせる社会の実現

今この瞬間、大きな地震に襲われたら、目の前で大切な人が倒れたら、何を考え、何ができるか。防災館における地震・消火体験や、心肺蘇生やケガに対する応急処置を学ぶことができる救命講習などを通じて、災害時に必要となる知識と技術を1人でも多くの方へ広めることで、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

○認定特定非営利活動法人 Teach For Japan《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】 リーダーシップと教育への情熱を持った若者を、教育課題を抱える公立学校へ教師として派遣

家庭以外で子どもの可能性を最大化出来るのは、情熱を持って真正面から向き合ってくれる教師の存在であると確信しています。私たちはこのプログラムを展開していくことで、生まれた家庭や育った環境にかかわらず、日本のすべての子どもが幸せに育っていける環境をつくり、子どもたちの可能性を最大化したい。そしてワクワクする未来を力強く歩んでほしいと願い、日々活動を続けています。

○認定特定非営利活動法人カタリバ《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】 日本の貧困や格差に苦しむ子ども達に、平等に学ぶ機会、安心な居場所を創り、挑戦する意欲を育む

日本の子どもの6人に1人は貧困状態にあると言われています。意欲はあっても進学できない、就職につながるような資格勉強ができないなどの理由から貧困の連鎖が起きやすい状況にあります。NPOカタリバは、貧しさの中で生きる子ども達のための安全な居場所と、学習の機会、温かい食事を提供する施設を展開します。

○公益財団法人東京都農林水産振興財団《アクティブチャリティ対象団体》

【使途】 「花粉の少ない森づくり」と地球温暖化防止を目指し、健全な森林を次世代に継承

広く都民の方々の理解と協力を得て、伐採と花粉の少ないスギ等の植栽と下刈りなどの保育管理を行う「花粉の少ない森づくり」に取り組み、木材を伐って使う、苗を植えて育てることを繰り返す「森林の循環」を促進しています。また、普及啓発活動として、秋にはチャリティランナーを招待し、一般の方々ととの交流による森づくり体験イベントを予定しています。

○公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

【使途】誰も取り残さない！スラムに生きる、子どもたちとお母さんたちの命を守ろう！

バングラデシュでは、首都ダッカを中心に急激に都市化が進み、スラムが拡大。狭い路地に多くの人々がひしめきあって暮らすスラムは、上下水道の未整備、ゴミや汚物の放置により衛生状態は劣悪です。また、子どもたちや妊産婦の多くは、必要な予防接種を受けていないため予防可能な病気に罹りやすく、5歳未満児の3人に1人は栄養不良にあります。プラン・インターナショナルはチャリティからの寄付で、首都ダッカの南にある3つのスラムで、子どもたち・若者・妊産婦の健康状態を改善するために活動を行います。

○公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

【使途】都民のスポーツの普及・振興

青森から東京まで東日本大震災で被災した地域を中心に、1,200km以上の道のりをランニングと自転車でタスキをつなぎ、被災地の現状や復興の取組の発信、震災の記憶の風化防止、全国と被災地の絆を結ぶことを目的としたリレーイベント「未来（あした）への道1,000km縦断リレー」などを実施します。

○東日本大震災復興支援事業

寄付金は東京マラソン財団で受け、被災地3県支援活動団体へ直接充てられる予定です。東日本大震災で肉親を失った子どもたちが今後も健やかに成長できるよう、安定した学びの機会や夢・希望をもって欲しいとの願いを込めて暖かい支援をおくり被災地3県の子どもたちの支えとなります。

【寄付分配先】

被災地3県（岩手県、宮城県、福島県）の育英事業に配分

【チャリティに関する一般の方のお問い合わせ】

【大会公式ウェブサイト／東京マラソン 2018 チャリティ】

<http://www.marathon.tokyo/charity>

【東京マラソンチャリティお問い合わせ事務局】

電話：03-5474-2091（10時00分～17時00分※土日、祝日、年末年始を除く）



東京マラソン2018 オフィシャルパートナー（協賛社）について

東京マラソン財団は、来年2月25日（日）に開催する「東京マラソン 2018」に向けて、大会をご支援いただく協賛社（オフィシャルパートナー）についてお知らせします。

平成 29 年 6 月 27 日現在

特別協賛 東京メトロ

協 賛 スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、

ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、
第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、
日本マクドナルド株式会社、

株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、
アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、
全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、
全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、
久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、
株式会社バンダイナムコエンターテインメント、

日本光電工業株式会社、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、
EMTG 株式会社

オフィシャルパートナーの情報につきましては、随時公式ウェブサイトなどでお知らせしていきます。
東京マラソン 2018 公式ウェブサイト <http://www.marathon.tokyo/>



東京マラソンEXPO 2018について

東京マラソン 2018 に先立ち、2月22日（木）、23日（金）、24日（土）の3日間、ナンバーカードをお渡しする約3万6千人のランナー受付をはじめ、約10万人の東京マラソンファンが訪れる「東京マラソン EXPO 2018」を開催します。

「Running Life Style」をテーマに「ランニングを通して様々なライフスタイル」を紹介します。「Running×ファッション」「Running×ビューティ」「Running×旅行」「Running×フィットネス」「Running×ヘルスケア」「Running×音楽」など「Running Life Style」には無限の可能性があります。年齢、性別、国籍、職業、経験など関係なく楽しめる「Running Life Style」を是非ご体験ください。

記

名 称 東京マラソン EXPO 2018

募集期間 平成 29 年 8 月 1 日(火)～10 月 31 日(火) まで
※申込状況により締切の場合がございます。

開催期間 平成 30 年 2 月 22 日(木) から 24 日(土) まで

<出展ゾーン>

2月22日(木)、23日(金) 11時00分から21時00分まで(入場は20時30分まで)

2月24日(土) 11時00分から20時00分まで(入場は19時30分まで)

<ランナー受付>

2月22日(木)、23日(金) 11時00分から20時30分まで

2月24日(土) 11時00分から19時30分まで

<申込方法>東京マラソン 2018 公式ウェブサイト内 EXPO ページ

<http://www.marathon.tokyo/>

<出展に関するお問合せ>

東京マラソン EXPO 2018 出展社事務局

電話：03-5500-6644（10時00分～18時00分※土日、祝日、年末年始を除く）

※出展社募集要項については、8月1日(火)より大会公式ウェブサイトに掲載予定。

○東京マラソン EXPO 2017 実績

来場者数 114,848 人（過去最高） 出展ブース数 135 ブース(137 団体)

